

# 坂城町内遺跡発掘調査報告書2014

—平成26年度試掘・立会い調査報告書—

2015.3

坂城町教育委員会

## 例　　言

- 1 本書は長野県埴科郡坂城町における開発事業に伴う、平成26年度の町内遺跡の試掘調査及び立会い調査の報告書である。
- 2 調査の費用は、国庫の補助金及び町費にて対応した。
- 3 調査の体制
  - 担当者 青木 昌也（文化財センター所長）、時信 武史（坂城町教育委員会学芸員）
  - 協力者 朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、荻野れい子（以上、町臨時職員）
- 4 事務局の構成
  - 教育長 宮崎 義也
  - 教育文化課長 柳澤 博
  - 文化財センター所長 青木 昌也（文化財係長兼務）
  - 文化財係 時信 武史  
赤池 利博、朝倉 妙子、天田 澄子、坂巻ケン子、  
中沢 あつみ、荻野れい子（以上、町臨時職員）
- 5 本書の執筆・編集は青木・時信が行った。
- 6 本書及び調査に関する資料は、坂城町教育委員会の責任下において保管されている。

## 凡　　例

- 1 本文中の面積は、開発対象面積と調査面積を記載し、（　）内に調査面積を記載した。
- 2 掘図の縮尺は、各図に縮尺を示した。
- 3 報告書抄録に記載された北緯・東経の座標値については、平成14年4月1日から施行された測量法改正に伴う、世界測地系に基づいた数値を記載した。

## 目　　次

### 例　　言

### 凡　　例

第Ⅰ章　坂城町の遺跡の立地と環境.....	1
第1節　地理的環境.....	1
第2節　歴史的環境.....	1
第Ⅱ章　試掘調査の結果.....	6
1　田町遺跡群10.....	6
2　廻り目遺跡4.....	8
3　上五明条里水田址22.....	10
4　大木久保遺跡4.....	12
5　上五明条里水田址23.....	14
第Ⅲ章　立会い調査の結果.....	16
報告書抄録	

# 第Ⅰ章 坂城町の遺跡の立地と環境

## 第1節 地理的環境

坂城町は北信地方と東信地方の接觸点にあたり、善光寺平を構成する更埴地方の最南端に位置する。町の地形は、中央部を貫流する千曲川の氾濫によって形成された氾濫原と、千曲川に流れ込む小河川がつくりだした扇状地によって形づくられた小盆地（坂城盆地）に特徴がある。町の北から東にかけては五里ヶ峰・大峰山・虚空蔵山をはじめとする標高1100～1300m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界を形成し、西は大林山、三ツ頭山などの標高1000m前後の山々が連続し、千曲市・上田市との市町村界となっている。南は千曲川右岸の岩鼻と左岸の半過の岩鼻が狭隘な地形を形成し、上田盆地と隔てられている。このような地形から、古来よりこの地域は千曲川流域の要衝の地として注目されてきた。

この地域の気候は、南北に開けた小盆地状をなしていることから、季節風の影響を受けやすいため、夏季は南風、冬季は北風が強い。また、盆地状になっていることから寒暖の差が大きい。降水量は少なく、日本で最も雨量の少ない地域の一つとされている。現在では、この気候も関連し、工業が主要な産業となっており、農業では、りんご・バラ・ぶどうの栽培が盛んである。

## 第2節 歴史的環境

ここで、坂城町の各時期について代表的な遺跡を挙げながら、町の歴史的環境について概略的にふれておきたい。（括弧内の数字は3、4ページの坂城町遺跡分布図における遺跡番号を示す）

坂城町で最古の遺物は、約14,000～15,000年前の後期旧石器時代の上ヶ屋型彫刻器とされる石器である。この石器は南条地区の保地遺跡（3-1）より採集されたものであるが、本出土品以外には込山D遺跡に槍先型尖頭器の出土があるが、詳細は不明である。

縄文時代の遺構・遺物では早期押型文系の土器が坂城地区の和平A遺跡や平沢遺跡で採集されている。また、平成12年度に発掘調査が実施された坂城地区の込山C遺跡（30-3）からも押型文系の土器片が少量出土しているが、これらは現在整理中である。この他に縄文時代前期・中期の土器も出土している。後期・晚期では、学史的にも有名な保地遺跡が挙げられる。保地遺跡は昭和40年度と平成11年度に発掘調査が実施されている。前者は縄文時代後期後半から晩期後半までの土器・石器群と、後期後半に属するとされる特殊儀礼的遺構の検出が『考古学雑誌』に報告されている（関 1966）。後者については、縄文時代晩期に位置づけられる再葬墓が検出されており、中でも約19個体分の人骨が埋葬された2号墓址が注目される。その他、坂城地区の込山D遺跡（30-4）から昭和初期に採集された遼光器土偶の頭部がある。

弥生時代では、中期以前の調査例がないため状況は不明である。後期後半では、平成5年度に南条地区的塚田遺跡（1-7）で発掘調査が実施され、この時期に属する堅穴住居址36棟をはじめとする遺構が検出され、土器・石器・土製品、及び鉄製品が出土している。

古墳時代では、前期古墳は確認されていないが、中期古墳には中之条地区的仮称東平1号墳・2号墳が挙げられる（註1）。これらは、平成5年度に実施された上信越自動車道建設に伴う発掘調査で、埴輪や土器などの出土品から、1号墳は5世紀第2四半期後半、2号墳は5世紀第2四半期前半に位置づけられた（若林1999）。後期古墳では、町内でいくつかの古墳群の存在が知られているが、中でも代表的なものは村上地区の福沢古墳群小野沢支群に属する御厨社古墳である。埋葬施設に千曲川水系最大級の横穴式石室を持ち、

全長11.2mを測り、勾玉や切子玉、耳環などが出土している。古墳時代後期の集落址は町内においても多く検出され、特に環状に土器が配列された祭祀遺構が検出された南条地区の青木下遺跡（1-8）が注目される。

奈良時代・平安時代の遺跡では、中之条地区の中之条遺跡群（8）とその周辺遺跡に多くの調査例があり、この地域における奈良・平安時代の状況が徐々に解明されつつある。具体的には、寺浦遺跡（8-1）、上町遺跡（8-2）、東町遺跡（8-3）、宮上遺跡（8-5）、北川原遺跡（8-6）、豊饒堂遺跡（20）、開斎遺跡（21）で調査が実施され、古墳時代後期後半～平安時代までの集落址が判明している。また、平安時代の生産遺跡として坂城地区の土井ノ入窯跡（32）があり、瓦の生産が行われていたことが判明し、本遺跡で生産された瓦は、現在の坂城小学校がある場所に8世紀末～9世紀頃に存在していたとされる込山廃寺（54）に用いられたほか、上田市信濃国分寺・国分尼寺、千曲市正法廃寺の補修用の差し瓦として使用されていたことが判明している。

平安時代後期、寛治8年（嘉保元）（1094）に村上地区に配流されてきた源盛清が後に村上氏として勢力をを持つようになり、戦国時代には村上義清が活躍するようになった。義清の頃、村上氏の居館は現在の坂城地区の満泉寺一帯に所在したとされ、その背後にそびえる葛尾山の山頂には、義清が使用した葛尾城跡（44）がある。このほか、中世の遺跡では坂城地区の観音平経塚（55）をはじめとする経塚と中之条地区の開斎製鉄遺跡（53）がある。観音平経塚は昭和54年と平成4年に調査が行われたが、平成4年の調査では、経塚の年代は14世紀第2四半期とされ、その周辺の五輪塔群の造営時期は14世紀第2四半期から16世紀前半頃に位置づけられている（若林1999）。開斎製鉄遺跡は、昭和52・53年に坂城町教育委員会によって学術調査が実施され、16世紀頃の製鉄炉址2基が確認されている。この調査は県内初の製鉄遺跡の学術調査として学史に位置づけられるものであった。

江戸時代に入ると、現在の坂城地区を主体とする坂木村、中之条地区を主体とする中之条村には幕府の代官所が置かれ、以後明治維新まで天領として支配された。このことから、この地域を重要視していたことが看取される。代官所は最初、坂木（61）に置かれたが、明和4年（1767）に焼失し、その後、安永8年（1779）には中之条に代官所が置かれるようになった。

以上、近世までの坂城町の歴史を概略した。

註1 周知の御堂川古墳群東平支群1号墳・2号墳とは異なる可能性があるため、仮称とされている。今後、正式な古墳名称の確定が必要である。

#### 参考文献（五十音順・敬称略）

- 坂城町教育委員会 1978『開斎製鉄遺跡－第1次調査報告』 1979『開斎製鉄遺跡－第2次調査報告』 1993『宮上遺跡II』 1995『東義遺跡』 1996『豊饒堂遺跡・上町遺跡・寺裏遺跡・東町遺跡』 1996『寺浦遺跡II』 2000『開斎遺跡III』 2001『宮上遺跡I・II・III・IV』 2002『保地遺跡II』  
関 孝一 1966「長野県埴科郡保地遺跡発掘調査報告」『考古学雑誌』第51巻第3号  
森崎 稔ほか 1981『坂城町誌』中巻 歴史編（一）  
柳沢 亮 1999「第5節 開斎遺跡」『北信新幹線鉄道文化財発掘調査報告書2』（財）長野県鉄道文化財センター  
若林 卓 1999「第9章 東平古墳群」「第11章 観音平経塚」「上信越自動車道鉄道文化財発掘調査報告書2」（財）長野県鉄道文化財センター



試掘調査位置図 (1 : 25,000)



坂城町遺跡分布図

国宝番号	通 路 名	種 別	時 代
1	南条瀧跡群	集落址	弥生~平安
-1	南条瀧跡群 実裏瀧跡	集落址	弥生~平安
-2	南条瀧跡群 佐野瀧跡(箕原)	集落址	弥生~平安
-3	南条瀧跡群 百々日瀧跡	集落址	弥生~平安
-4	南条瀧跡群 中町瀧跡(新地)	集落址	弥生~平安
-5	南条瀧跡群 田町瀧跡	集落址	弥生~平安
-6	南条瀧跡群 畏り日瀧跡	集落址	弥生~平安
-7	南条瀧跡群 原田瀧跡(田畠)	集落址	弥生~平安
-8	南条瀧跡群 東木下瀧跡	水田址、廻紀跡	弥生~平安
2	金井西瀧跡群	集落址	縄文~平安
-1	金井西瀧跡群 金井瀧跡	集落址	縄文~平安
-2	金井西瀧跡群 杜宮大瀧跡(金井西)	集落址	縄文~平安
-3	金井西瀧跡群 加木丁瀧跡	集落址	縄文~平安
3	金井東瀧跡群	集落址	縄文~平安
-1	金井東瀧跡群 保治瀧跡	集落址	縄文~平安
-2	金井東瀧跡群 山合大瀧跡	集落址	縄文~平安
-3	金井東瀧跡群 大木久保瀧跡(南条小学校跡)	集落址	縄文~平安
-4	金井東瀧跡群 酒王瀧跡	集落址	縄文~平安
4	黒ヶ官古墳	古 墓	古墳
5	社宮神社塚	経 墓	中世
6	桃枝尾瀧跡群	敷石址	縄文~平安
7	北招古墳	古 墓	古墳(後期)
8	中之島瀧跡群	集落址	縄文~平安
-1	中之島瀧跡群 寺池瀧跡	集落址	縄文~平安
-2	中之島瀧跡群 上河瀧跡	集落址	弥生~平安
-3	中之島瀧跡群 東川瀧跡	集落址	弥生~平安
-4	中之島瀧跡群 北道瀧跡	集落址	縄文~平安
-5	中之島瀧跡群 宮上瀧跡	集落址	縄文~平安
-6	中之島瀧跡群 北川瀧跡	集落址	縄文~平安
9	南条鬼谷古墳(原穴六号墳)	古 墓	古墳(後期)
10	岩谷古墳群	古 墓	古墳(後期)
-1	岩谷古墳群 入横尾尾塚 向山古墳	古 墓	古墳(後期)
-2	岩谷古墳群 入横尾尾塚 向山古墳	古 墓	古墳(後期)
11	入横尾瀧跡群	敷石址	平安
12	岩谷古墳群 上原支群	古 墓	古墳(後期)
13	前原瀧跡群	基 地	中世~近世
14	御堂川古瀧跡群 山口支群	古 墓	古墳(後期)
15	山崎瀧跡群	敷石址	縄文
16	御堂川古瀧跡群 山崎支群	古 墓	古墳(後期)
17	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-1	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-2	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-3	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-4	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-5	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-6	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-7	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-8	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-9	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-10	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-11	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-12	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-13	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
-14	御堂川古瀧跡群 前山寺号墳	古 墓	古墳(後期)
18	御堂川古瀧跡群 東平野群 二塚古墳	古 墓	古墳(後期)
19	御堂川古瀧跡群 山田古墳	古 墓	古墳(後期)
20	鹿敷古瀧跡群(山崎北古瀧跡)	集落址	縄文~弥生
21	蘭嶋瀧跡群	集 萩	弥生~平安
22	人塚古墳	古 墓	古墳(後期)
23	四ツ瀧跡群	集落址	縄文~平安
24	久成瀧跡群	集落址	縄文~平安
25	入田瀧跡群	敷石址	鹿島~平安
26	境内古瀧跡(御門沢古瀧跡)	古 墓	古墳(後期)
27	金比羅山古瀧跡	敷石址	縄文~平安
28	栗子古瀧跡	経 墓	中世
29	岡の原古瀧跡	基 地	平安
30	辺山瀧跡群	集落址	縄文~平安
-1	辺山瀧跡群 辻山八瀧跡(水上)	集落址	縄文~平安
-2	辺山瀧跡群 辻山八瀧跡(社宮神)	集落址	縄文~平安
-3	辺山瀧跡群 辻山八瀧跡(山上)	集落址	縄文~平安
-4	辺山瀧跡群 辻山C瀧跡(樺町)	集落址	縄文~平安
-5	辺山瀧跡群 辻山E瀧跡(立町)	集落址	縄文~平安
31	日名瀧跡群	集落址	弥生~平安
-1	日名瀧跡群 日名瀧跡	集落址	弥生~平安
-2	日名瀧跡群 丸山古瀧跡	集落址	弥生~平安
92	土井ノ原古瀧跡	基 地	鹿島~平安
93	平林瀧跡群	敷石址	縄文
34	垣外家跡	家 路	平安
35	平川瀧跡群	敷石址	縄文
36	和平瀧跡群	集落址、敷石址	縄文~平安
-1	和平瀧跡群 和平八瀧跡	集落址	弥生~平安
-2	和平瀧跡群 和平B瀧跡	敷石址	弥生
-3	和平瀧跡群 和平C瀧跡	敷石地	平安
37	金比羅山古瀧跡	古 墓	古墳(後期)
38	村上氏祖跡	城跡	中世
39	村の曾瀧跡	敷石地	縄文
40	北日経絆跡	経 墓	中世
41	北日志摩古瀧跡群	古 墓	古墳(後期)
-1	北日志摩61号墳	古 墓	古墳(後期)
-2	北日志摩7号墳	古 墓	古墳(後期)
42	舟ノ木瀧跡	経 墓	中世
43	栗山瀧跡群	家 路	縄文
44	葛尾古墳群	城跡	中世
45	出道沢古瀧跡群	古 墓	古墳(後期)
-1	出道沢古瀧跡群 出道支群1号墳	古 墓	古墳(後期)
-2	出道沢古瀧跡群 出道支群2号墳	古 墓	古墳(後期)
-3	出道沢古瀧跡群 出道支群3号墳	古 墓	古墳(後期)
-4	出道沢古瀧跡群 畠支群4号墳	古 墓	古墳(後期)
-5	出道沢古瀧跡群 出道支群5号墳	古 墓	古墳(後期)
-6	出道沢古瀧跡群 畠支群6号墳	古 墓	古墳(後期)
-7	出道沢古瀧跡群 畠支群2号墳	古 墓	古墳(後期)
46	鳥瀧跡	集落址	弥生~平安
47	狹沢古瀧跡群	古 墓	古墳(後期)
-1	狹沢古瀧跡群 小野沢支群1号墳(側原寺古墳)	古 墓	古墳(後期)
-2	狹沢古瀧跡群 小野沢支群2号墳	古 墓	古墳(後期)
-3	狹沢古瀧跡群 小野沢支群3号墳(ヤックラ古墳)	古 墓	古墳(後期)
-4	狹沢古瀧跡群 小野沢支群4号墳	古 墓	古墳(後期)
48	小野沢瀧跡群	墓場	弥生~平安
49	狹沢古瀧跡 越生支群	古 墓	古墳(後期)
50	福原寺古墳群	古 墓	古墳(後期)
51	狐塚城跡	城跡	中世
52	三大城跡	城跡	中世
53	間引製鐵廠跡	製鉄跡	中世
54	込山寺跡	寺地跡	平安
55	鶴巣平鉢塚	縦 墓	中世
56	栗田小國治跡	製鉄跡	中世
57	里之瀧跡群	集落址	弥生~平安
58	南日名瀧跡	集落址	弥生~平安
59	葛尾城跡	城跡	中世
60	逆坂城跡	城跡	中世
61	木代大官所跡	屋根跡	近世
62	町田瀧跡群	敷石地	古墳~平安
63	御所沢古瀧跡群	基 地	中世
64	芦戸瀧跡	墓 地	平安
65	中之森石切連跡	採石跡	近世
66	延喜古瀧跡	古 墓	古墳(後期)
67	中之森代官所跡	城跡	近世
68	祇園家跡	墓 地	平安
69	祇園派城跡	城跡	中世
70	南日の川瀧跡(吉祥寺跡)	創始寺古跡	奈良~中世
71	口吉野所跡	星宿跡	近世
72	和食城跡	城跡	中世
73	高下山城跡	城跡	中世
74	鹿伏郡山城跡	城跡	中世
75	地蔵沢黄铁矿脉跡	採鉄跡	近世
76	竪瀧跡	敷石地	平安
77	出城跡	城跡	中世
78	上玉明条里水田址	水田址	平安~近世
79	出道瀧跡	集落址	縄文~平安
80	村上氏祖跡	城跡	中世
81	福井先祖供養塚	城跡	中世
82	小野沢古瀧跡	古 墓	古墳(後期)
83	城古瀧跡群	古 墓	古墳(後期)
-1	城古瀧跡群 五狭支群1号墳	古 墓	古墳(後期)
-2	城古瀧跡群 五狭支群2号墳	古 墓	古墳(後期)
-3	城古瀧跡群 五狭支群3号墳	古 墓	古墳(後期)
84	密室瀧跡	集落址	縄文~平安
85	網代瀧跡群	集落址	縄文~平安
86	葛尾紀跡	祭地跡	平安
87	島崎黃鉄鉱脈跡	採鉄跡	近代
88	鳥マンゴン鉱脈跡	採鉄跡	近代
89	上手向銅鉱床跡	採鉄跡	近代
90	横次北国街道	街道跡	近世

## 第Ⅱ章 試掘調査の結果

### 1 田町遺跡群10

所在地 坂城町大字坂城6634-2他

事業主体 (株)ひらせいホームセンター

事業名 店舗建設事業

調査期間 平成26年4月7・8日

面 積 5.798m<sup>2</sup> (780m<sup>2</sup>)

担当者 時信 武史

#### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

田町遺跡群は、坂城町大字坂城に所在する古墳時代から平安時代にかけての散布地である。これまでにも数次にわたって試掘調査が実施されたが、遺跡の状況は判然としない。

今回、(株)ひらせいホームセンターによる店舗建設事業が計画され、遺跡の状況を確認するために試掘調査を実施することとなった。

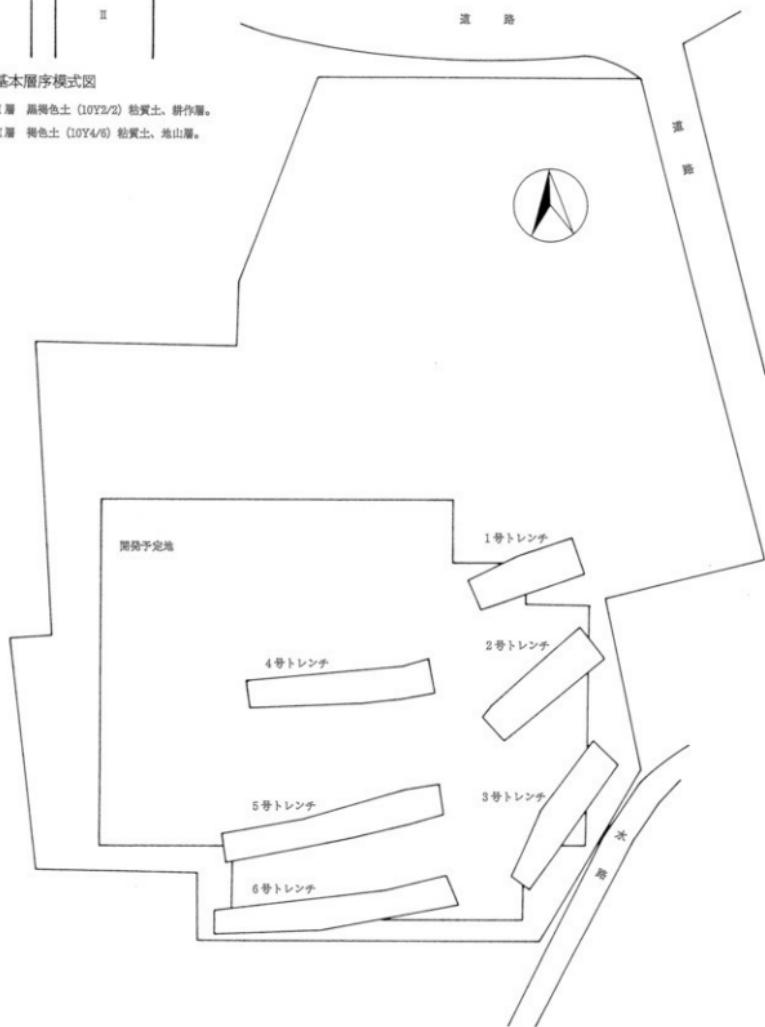
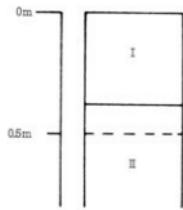
#### 調査の成果

今回の計画地は、入田川の形成する扇状地に位置している。店舗建設予定地を中心に、トレンチを6か所設定し、遺構の有無を確認した。

1号トレンチでは形状が不明ではあるが、豎穴状の遺構が検出された。2号トレンチでは土坑が数基検出された。3号トレンチでは溝状の遺構が検出された。4号トレンチでは形状が不明ではあるが、豎穴状の遺構が検出された。5号トレンチでは形状が不明ではあるが、豎穴状の遺構が検出された。6号トレンチでは形状が不明ではあるが、豎穴状の遺構が検出された。出土遺物が少量のため断定することは出来ないが、平安時代から中世にかけて営まれた集落ではなかったかと思われる。

遺跡は盛土保存することとした。





試掘トレンチ設定図 (1 : 700)

## 2 回り目遺跡 4

所在 地 坂城町大字南条6698-6他

事業主体 株式会社塩沢産業

事業名 砂利採取事業

調査期間 平成26年6月2日

面 積 8,901m<sup>2</sup> (340m<sup>2</sup>)

担当者 時信 武史

### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

回り目遺跡は、坂城町大字南条の千曲川によって形成された自然堤防上に立地する遺跡である。「坂城町遺跡分布図」によると、弥生時代から平安時代にかけての集落址とされている。同遺跡内ではこれまでのところ本発掘調査は実施されていないが、漁労に用いられたとされる土鍤が114点採集されているほか、8世紀のものとされる須恵器の小型平瓶が採集されている。

今回、株式会社塩沢産業による砂利採取事業が計画され、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

### 調査の成果

今回の調査地点は、千曲川によって形成された自然堤防上である。トレーニングを4箇所設定して遺構の有無を確認した。

試掘調査の結果、現水田に係る耕作土を除去したところ、地表下0.4m以下は砂質層、シルト層、砂礫層が堆積していた。これらの土層を観察したが、遺構・遺物の発見にはいたらなかった。

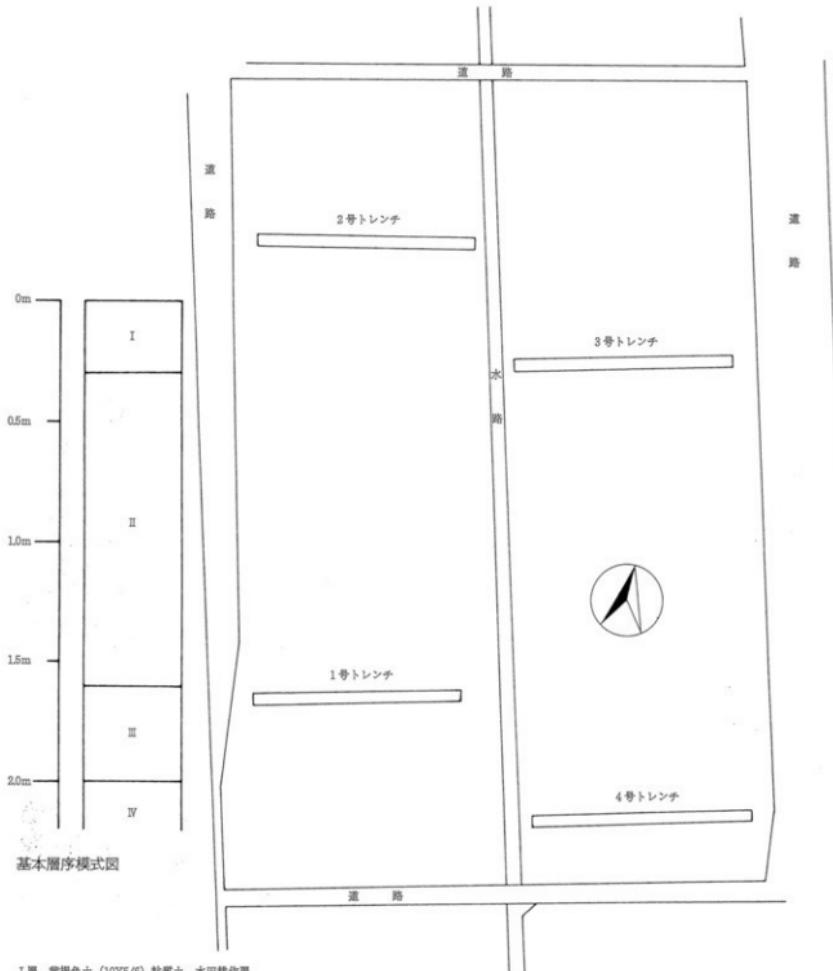


1号トレーニング検出状況（西より）



2号トレーニング検出状況（西より）

基本層序模式図



試掘トレンチ設定図 (1 : 700)

### 3 上五明 条里水田址22

所 在 地 坂城町大字上五明64-1

事業主体 ちくま農業協同組合

事 業 名 宅地造成事業

調査期間 平成26年7月25・26日

面 積 955m<sup>2</sup> (108m<sup>2</sup>)

担 当 者 時信 武史

#### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

上五明条里水田址は、坂城町の千曲川左岸の網掛、上五明、上平に所在する千曲川沖積地に所在する遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると平安時代～中世にかけての条里水田址に位置付けられている。しかし、近年の試掘調査及び発掘調査によって、上五明地区、上平地区には古代の集落址も検出され、生産遺跡といった性格以外に集落址も存在していることが判明している。

今回、ちくま農業協同組合によって宅地造成事業が計画されたため、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することとなった。

#### 調査の成果

今回の調査地点は、出浦沢川による扇状地に近い、比較的標高の高めの場所であった。

トレンチを1箇所設定して掘り下げを行ったところ、地表下約1.5mの所でにぶい黄褐色のシルト層を検出し、この層を確認面とする堅穴住居址1棟と土坑4基を検出した。

遺跡は盛土保存することとして調査を終了した。



試掘調査位置図 (1 : 2500)

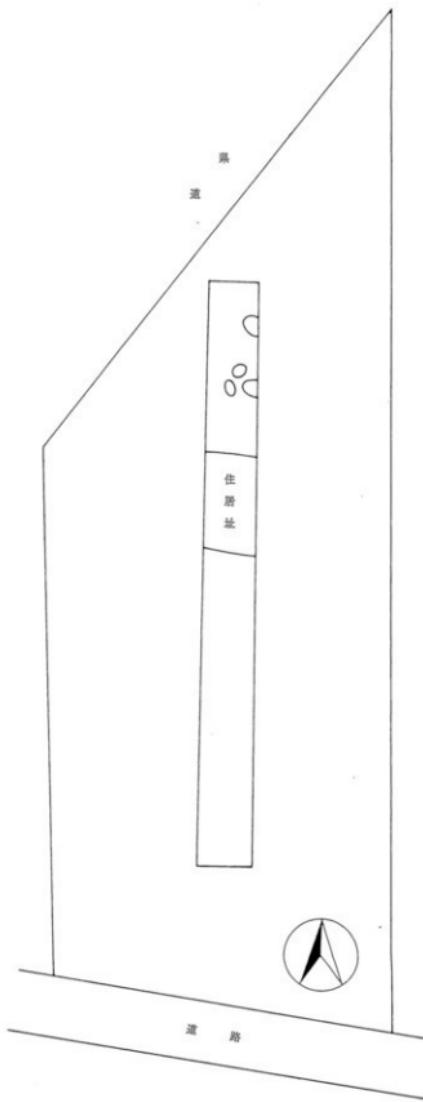
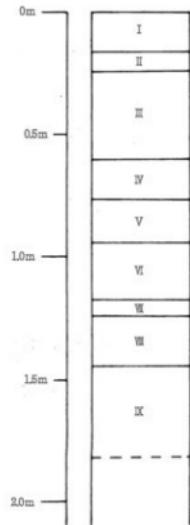


トレンチ掘削状況 (北より)



トレンチ検出状況 (北より)

- I層 楊灰色土 (10Y4/1) 粘質土、水田耕作層  
 II層 黒褐色土 (10Y3/1) 粘質土、水田底土層  
 III層 楊灰色土 (10Y4/1) 粘質土、底土層  
 IV層 明黃褐色土 (10Y6/6) シルト、旧水田耕作層  
 V層 黃褐色土 (10Y5/6) シルト、旧水田底土層  
 VI層 にぶい黄褐色土 (10Y4/3) シルト、旧々水田耕作層  
 VII層 にぶい黄褐色土 (10Y5/4) シルト、旧々水田底土層  
 VIII層 暗褐色土 (10Y3/3) シルト、旧底土層  
 IX層 にぶい黄褐色土 (10Y4/3) シルト、堆山層 (堆積突出部)



## 4 大木久保遺跡 4

所在 地 坂城町大字南条2036他

事業主体 坂城町

事 業 名 小学校改築事業

調査期間 平成26年9月24・25日

面 積 23,970m<sup>2</sup> (68m<sup>2</sup>)

担 当 者 時信 武史

### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

大木久保遺跡は坂城町大字南条に所在し、西方向に流下する谷川の扇状地の扇端付近、標高約415m付近に位置する。「坂城町遺跡分布図」によると縄文～平安時代の集落址とされている。平成13年に宅地造成事業に先だって試掘調査を実施したが、遺構等は確認できなかった。平成25年度に坂城町による小学校改築事業が計画され、遺跡の状況を確認するため試掘調査を行ったところ、住居址等の遺構が確認された。今年度は昨年度試掘調査を実施することが出来なかつた場所において調査を行つた。

### 調査の成果

調査の結果、地表下約2.7mの所で褐色の地山層を検出したが、遺構等は確認できなかつた。



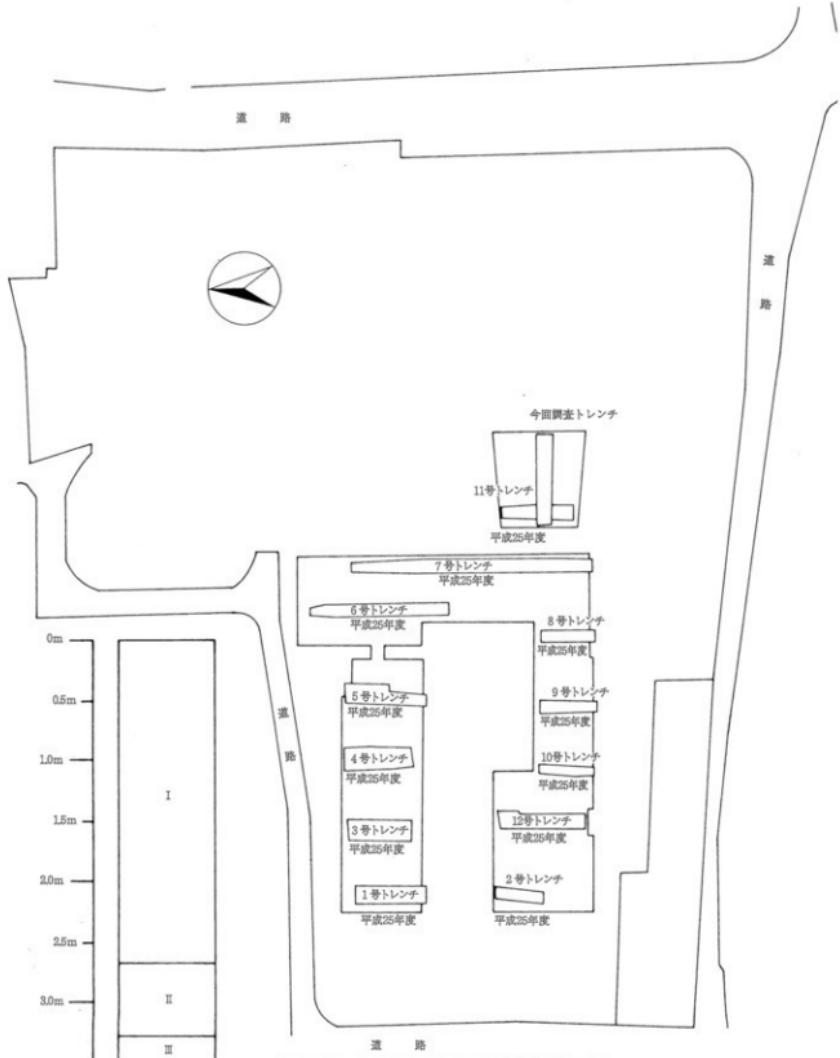
試掘調査位置図 (1 : 2500)



トレンチ掘削状況（東より）



トレンチ検出状況（東より）



基本層序模式図

I層 造成土層。

II層 増褐色土 (10Y3/2) 粘質土、堆積層。

III層 棕褐色土 (10Y3/3) 砂礫土、地山層。

試掘トレンチ設定図 (1 : 1000)

## 5 上五明 条里水田址23

所 在 地 坂城町大字上五明590他

事業主体 株式会社塩沢産業

事 業 名 砂利採取事業

調査期間 平成26年12月24・25日

面 積 8,041m<sup>2</sup> (248m<sup>2</sup>)

担 当 者 時信 武史

### 遺跡の環境と調査にいたる経緯

上五明条里水田址は、坂城町の千曲川左岸の網掛、上五明、上平に所在する千曲川沖積地に所在する遺跡で、「坂城町遺跡分布図」によると平安時代～中世にかけての条里水田址に位置付けられている。しかし、近年の試掘調査及び発掘調査によって、上五明地区、上平地区には古代の集落址も検出され、生産遺跡といった性格以外に集落址も存在していることが判明している。

今回、株式会社塩沢産業によって砂利採取事業が計画されたため、遺跡の状況を確認するため試掘調査を実施することになった。

### 調査の成果

今回の調査地点は、千曲川旧流路と考えられる周辺よりやや標高の低い場所であった。

試掘調査の結果、地表下約1.6～2.5mで千曲川本流の砂利層が検出された。土層断面の観察や、遺物が出土しなかったことから、当該地には遺構は存在していないものと判断した。



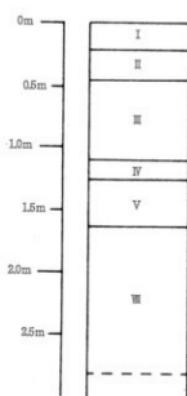
試掘調査位置図 (1 : 2500)



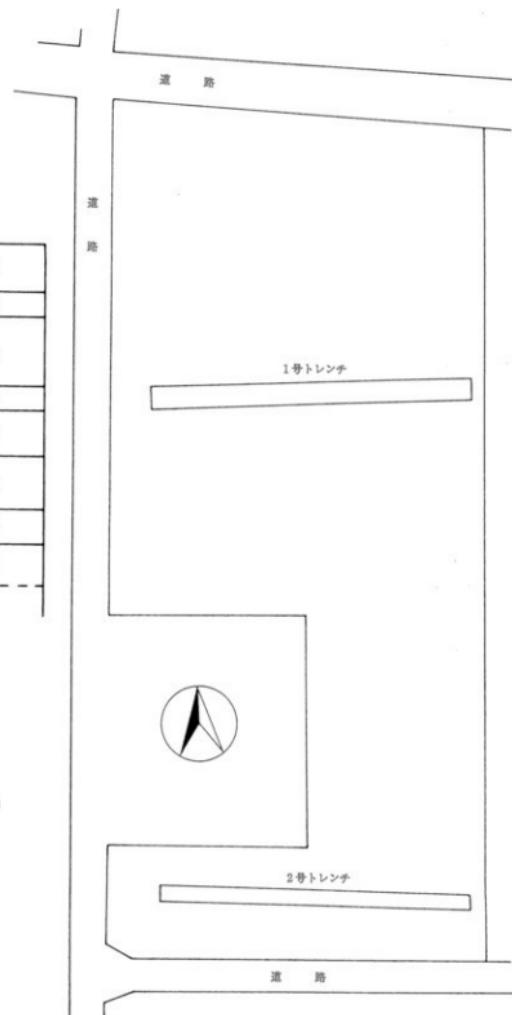
1号トレンチ検出状況 (東より)



2号トレンチ検出状況 (東より)



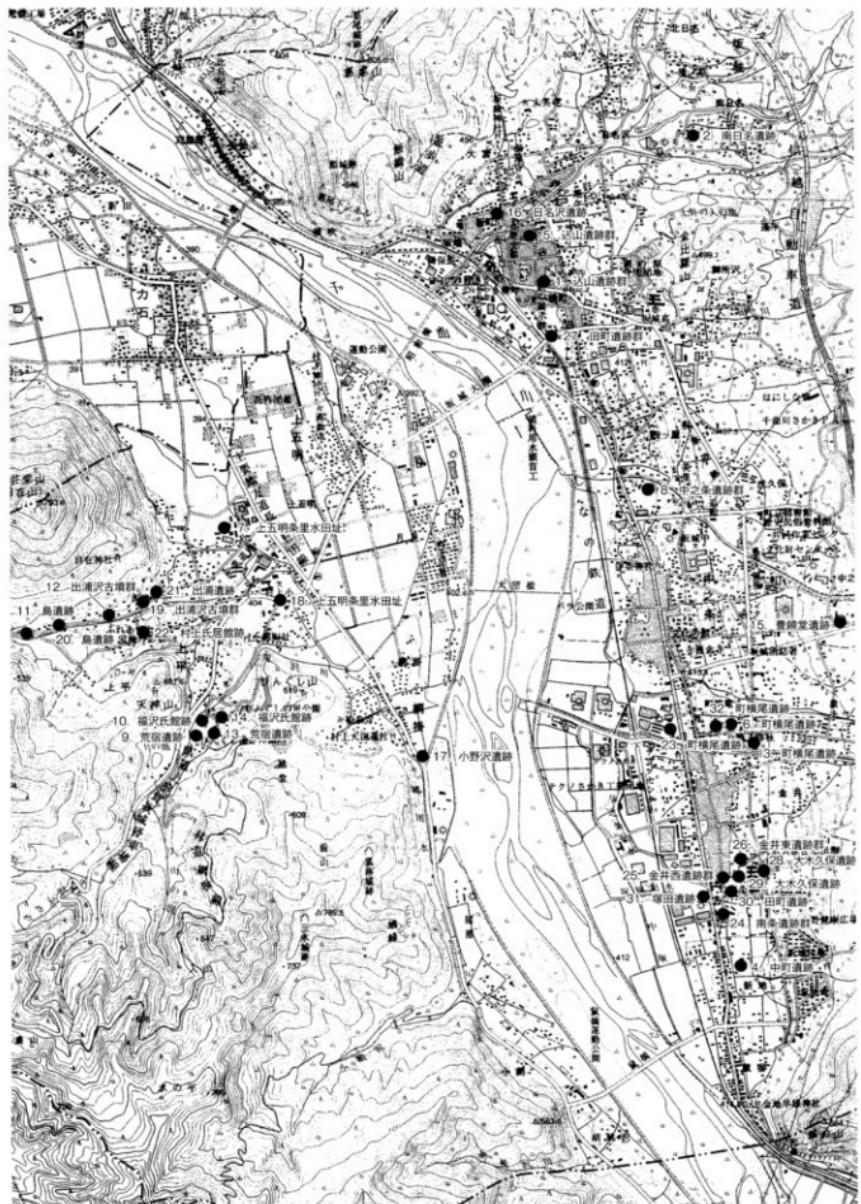
- I層 楊沢色土 (10YR5/1) 粘質土、水田耕作層
- II層 明黄楊沢色土 (10YR6/6) 粘質土、水田床土層
- III層 楊沢色土 (10YR4/1) 粘質土、底土層
- IV層 楊沢色土 (10YR5/1) 粘質土、旧水田耕作層
- V層 にじい黄楊沢色土 (10YR5/4) 粘質土、旧水田床土層
- VI層 楊沢色土 (10YR5/1) シルト、堆積層
- VII層 楊沢色土 (10YR4/1) シルト、堆積層
- VIII層 黒楊沢色土 (10YR3/2) 砂利、地盤層



試掘トレンチ設定図 (1 : 700)

### 第Ⅲ章 立会い調査の結果

No.	遺跡名	開発主体者	所在地	開発事業名	開発面積 (m <sup>2</sup> )	調査期間
1	込山遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	551	H26年4月19日～ H26年9月28日
2	南日名遺跡	クリエートコードレーション	坂城	太陽光パネル設置	2,074	H26年4月16日～ H26年5月31日
3	町横尾遺跡	KDDI 株式会社	南条	携帯電話鉄塔建設	25	H26年5月26日～ H26年8月31日
4	中町遺跡	個人	南条	太陽光パネル設置	903	H26年7月1日～ H26年10月31日
5	込山遺跡群	個人	坂城	個人住宅建設	243	H26年7月1日～ H26年10月31日
6	町横尾遺跡	個人	南条	個人住宅建設	240	H26年9月6日～ H27年1月28日
7	上五明条里水田址	株式会社竹内製作所	村上	工場建設	18,803	H27年1月10日～ H27年3月31日
8	中之条遺跡群	力石化工株式会社	中之条	工場建設	8,005	H26年11月4日～ H26年12月26日
9	荒宿遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	30	H26年10月27日～ H27年2月20日
10	福沢氏館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	38	H26年10月27日～ H27年2月20日
11	島遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
12	出浦沢古墳群	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
13	荒宿遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
14	福沢氏館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	349	H26年10月14日～ H27年3月13日
15	疊鶴堂遺跡	上田水道管理事務所	中之条	舗装本復旧	257	H26年10月14日～ H27年1月15日
16	日名沢遺跡	上田水道管理事務所	坂城	舗装本復旧	1,128	H26年10月14日～ H27年1月15日
17	小野沢遺跡	上田水道管理事務所	村上	舗装本復旧	100	H26年10月14日～ H27年1月15日
18	上五明条里水田址	上田水道管理事務所	村上	舗装本復旧	30	H26年10月14日～ H27年1月15日
19	出浦沢古墳群	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	183	H26年11月4日～ H27年3月31日
20	島遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	184	H26年11月4日～ H27年3月31日
21	出浦遺跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	183	H26年11月4日～ H27年3月31日
22	村上氏居館跡	上田水道管理事務所	村上	配水管埋設	184	H26年11月4日～ H27年3月31日
23	町横尾遺跡	株式会社ファミリーマート	南条	店舗建設	1,324	H26年12月1日～ H27年1月23日
24	南条遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	10	H26年12月1日～ H27年3月31日
25	金井西遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	45	H26年12月1日～ H27年3月31日
26	金井東遺跡群	上田水道管理事務所	南条	配水管埋設	45	H26年12月1日～ H27年3月31日
27	田町遺跡群	上田水道管理事務所	坂城	配水管埋設	71	H26年12月15日～ H27年1月19日
28	大久保遺跡	坂城町建設課	南条	道路改良	200	H26年12月10日～ H27年2月15日
29	大久保遺跡	坂城町建設課	南条	下水管埋設	280	H26年12月15日～ H27年3月31日
30	田町遺跡	坂城町建設課	南条	下水管埋設	15	H26年12月15日～ H27年3月31日
31	塚田遺跡	坂城町建設課	南条	下水管埋設	7	H26年12月15日～ H27年3月31日
32	町横尾遺跡	個人	南条	個人住宅建設	350	H27年1月26日～ H27年5月10日



立会い調査位置図 (1 : 25,000)

報告書抄録

ふりがな	さかきちょうないいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書名	坂城町内遺跡発掘調査報告書 2014
副書名	平成26年度試掘・立会い調査報告書
巻次	
シリーズ名	坂城町埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第45集
編著者名	時信 武史
編集機関	坂城町教育委員会
所在地	〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城6362-1 TEL 0268-82-1109
発行年月日	2015年3月31日

所収遺跡名	所在地	コード	北緯	東經	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
		市町村					
田町遺跡群10	坂城町大字坂城	20521	36°27'38"	138°11'15"	2014年4月7日 2014年4月8日	780	店舗建設事業
廻り目遺跡4	坂城町大字南条	20521	36°26'00"	138°11'22"	2014年6月2日	340	砂利採取事業
上五明 条里水田址22	坂城町大字上五明	20521	36°27'01"	138°10'14"	2014年7月25日 2014年7月26日	108	宅地造成事業
大木久保遺跡4	坂城町大字南条	20521	36°26'05"	138°11'37"	2014年9月24日 2014年9月25日	68	小学校改築事業
上五明 条里水田址23	坂城町大字上五明	20521	36°27'08"	138°10'11"	2014年12月24日 2014年12月25日	248	砂利採取事業

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
田町遺跡群10	散布地	古墳～平安	住居址ほか	土師器	
廻り目遺跡4	集落址	弥生～平安	なし	なし	
上五明条里水田址22	水田址	平安～近世	住居址ほか	なし	
大木久保遺跡4	集落址	繩文～平安	なし	なし	
上五明条里水田址23	水田址	平安～近世	なし	なし	

## 坂城町埋蔵文化財調査報告書

第1集	『開款製鉄遺跡—第1次調査報告書』	
第2集	『開款製鉄遺跡—第2次調査報告書』	
第3集	『東裏遺跡』	
第4集	『中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅱ』(概報)	
第5集	『南条遺跡群 塚田遺跡』	
第6集	『南条遺跡群 東裏遺跡Ⅱ・青木下遺跡』	1994
第7集	『町内遺跡発掘調査報告書』	1994
第8集	『町内遺跡発掘調査報告書』	1995
第9集	『南条遺跡群 塚田遺跡Ⅱ』	1995
第10集	『豊鶴堂遺跡・上町遺跡・寺浦遺跡・東町遺跡』	1996
第11集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅱ』	1996
第12集	『中之条遺跡群 上町遺跡Ⅱ』	1996
第13集	『上五明条里水田址』	1996
第14集	『町内遺跡発掘調査報告書1995』	1996
第15集	『坂城町試掘調査・立会い調査報告書』	1996
第16集	『町内遺跡発掘調査報告書1996』	1997
第17集	『戊久保・町横尾遺跡』	1998
第18集	『込山Bほか 発掘調査報告書 1997』	1998
第19集	『町内遺跡発掘調査報告書1998』	1999
第20集	『町内遺跡発掘調査報告書1999』	2000
第21集	『開款遺跡Ⅲ』	2000
第22集	『中之条遺跡群 北川原遺跡Ⅱ』	2001
第23集	『町内遺跡発掘調査報告書2000』	2001
第24集	『中之条遺跡群 宮上遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ』	2001
第25集	『金井東遺跡群 保地遺跡Ⅱ』	2002
第26集	『町内遺跡発掘調査報告書2001』	2002
第27集	『町内遺跡発掘調査報告書2002』	2003
第28集	『豊鶴堂遺跡Ⅲ』	2004
第29集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2003』	2004
第30集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2004』	2005
第31集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2005』	2006
第32集	『込山遺跡群 込山C遺跡Ⅱ・Ⅲ』	2006
第33集	『込山遺跡群 込山D遺跡Ⅰ』	2007
第34集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2006』	2007
第35集	『南条遺跡群 青木下遺跡Ⅱ・Ⅲ』	2007
第36集	『開款遺跡Ⅳ』	2008
第37集	『町横尾遺跡Ⅱ』	2008
第38集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2007』	2008
第39集	『中之条遺跡群 上町遺跡Ⅳ・Ⅴ』	2009
第40集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2008』	2009
第41集	『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅳ』	2010
第42集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2009』	2010
第43集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2010』	2011
第44集	『町横尾遺跡Ⅲ』	2012
第45集	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2011』	2012
	『中之条遺跡群 寺浦遺跡Ⅴ』	2013
	『中之条遺跡群 山口遺跡Ⅰ』	2013
	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2012』	2013
	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2013』	2014
	『坂城町内遺跡発掘調査報告書2014』(本書)	2015

---

### 坂城町埋蔵文化財調査報告書第45集

#### 坂城町内遺跡発掘調査報告書2014

発行日

2015年3月31日

編集者

坂城町教育委員会

〒389-0601 長野県埴科郡坂城町大字坂城 6362-1

TEL 0268 (82) 1109

印刷者

信毎書籍印刷株式会社

〒381-0037 長野県長野市西和田1丁目30番3号

TEL 026 (243) 2105

---